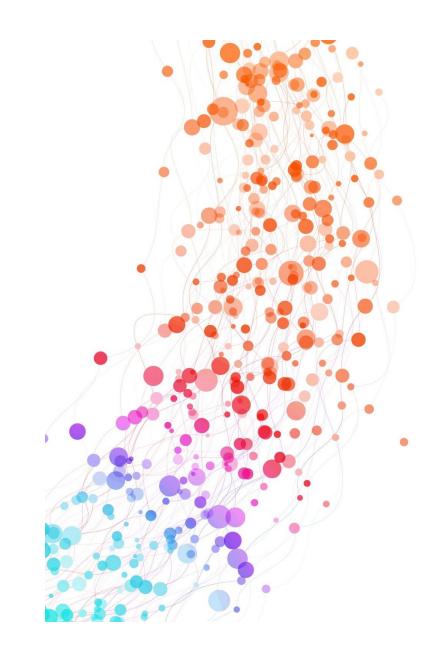
繰り返し解説

3年情報





1から4までの数字の合計を求めるプログラム

- (1) sum=0
- (2) iを lから4まで lつづつ増やしながら繰り返す:
- (3) \sqsubseteq sum=sum + i
- (4) 表示する (sum)



1から4までの数字の合計を求めるプログラム

- (1) sum=0
- (2) iを lから4まで lつづつ増やしながら繰り返す:
- (3) \sqsubseteq sum=sum + i
- (4) 表示する (sum)

実行回数	i	sum
1	1	1
2	2	① 3
3	23	3 6
4	4 6	4 10



lから9までの整数のうち奇数だけを合計するプログラム

- (1) sum=0
- (2) iをlから9まで2つづつ増やしながら繰り返す:
- (3) \sqsubseteq sum=sum + i
- (4) 表示する (sum)

実行回数	i	sum
1	1	1
2	3	1 4
3	2 5	3 9
4	4 7	4 16



3、2、Iと数字を順番に表示した後、成功と表示するプログラム

- (I) iを3から ア まで減らしながら繰り返す:
- (2) sum=sum + i
- (3) 表示する("成功する")



データーを5回入力し、その合計を求めるプログラム

- (1) sum=0
- (3) a=【外部からの入力】
- (4) ___ sum=sum + 2
- (4) 表示する (sum)

答え ①5

答え **2**0